



シリーズ「元気が一番！」

あなたの夢を教えてください

校長 笠井 猛雄

3学期の始業式。子どもの頃の夢を実現した人物が、小学生の頃に書いた作文をクイズ形式で紹介しました。

「さて、誰が書いた作文でしょう？」※[誰か?]はお子さんに聞くか、後述を参考にしてください。

- 【人物①】 僕の夢は、一流のプロ野球選手になることです。(略) 3年生の時から今までは、365日中、360日は激しい練習をしています。だから、一週間中で友達と遊べる時間は、5~6時間です。
- 【人物②】 この6年間で一番思い出に残ったことはテニスで日本一になったことです。(略) これからは、だれにも負けないように、苦しい練習も絶対あきらめずに全力でとりくんでいこうと思います。夢は世界チャンピオンになることです。
- 【人物③】 やっぱり大好きなお笑いの道へ進みたいと思っています。(略) 私がお笑い芸人になったら、ただ、おもしろいだけじゃなくて、人を明るくできるようにになりたいです。おなかの底から笑って、イヤな事をス〜ッと忘れさせてあげられる、そんな芸人さんになりたいです。

「プロ野球選手」「警察官」「学校の先生」など、子どもたちの将来の夢は様々ですが、「まだ決めていない」「はっきりしない」という子もいます。

そこで、もう一人の人物を紹介しました。

アップル社の共同設立者の一人であるスティーブ・ジョブズ氏です。

ジョブズ氏には「コンピュータで世界を変える」という夢がありました。

ジョブズ氏は、アップル社を立ち上げ、様々な挫折や困難を乗り越え、まさしく夢のようなコンピュータを作り、本当に世界の人々の生活を変えてしまいました。

ジョブズ氏は言います。



大切なのは、本当に自分が好きなことを見つけることです。
もしもまだ見つけていないのなら、見つかるまでさがし続けることです。

「ジョブズさんがいなかったら、このiphoneもなかったはずですが。ジョブズさんのおかげで、私たちはとても便利な生活ができています。今、夢がないという人も、ジョブズさんが言うように、自分が本当に好きなことを見つけてください。そして、見つかるまで探し続けてください。」

自分が本当に好きなことが夢につながります。

自分が好きなことをとことん続けることが夢を実現するための第一歩です。

「将来の夢や目標をしっかりと持つと、苦しいことや嫌なことがあっても、『がんばる力』や『元気』が湧いてきます。イチロー選手も錦織選手も柳原可奈子さんも小学生の頃からしっかりとした夢を持っていたからこそ、あきらめずに、いろいろなことを頑張ることができたのです。」

あなたの夢は何ですか？
校長先生に、みなさんの夢を教えてください。
みなさんの夢を応援させてください。



新しい年を迎えました。

子どもたちにとってこの一年が、自分の夢や目標に向かって元気一杯チャレンジできる年になることを願っています。